

監査報告書

令和4年5月18日

社会福祉法人向陽福祉会
理事長 山口 直子 殿

監事 永野 卓美

監事 萬谷 正樹



私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

③ 向陽福祉会の現状

令和2年に発生したコロナ禍の影響が2年以上経過した今も残る中、介護、感染予防、ローテーションの確保等に配慮を尽くしながら、懸命な対応を続けていますが、感染者、濃厚接触者も出る中、利用者のみならず、職員にも過重な負荷がかかっており、きめ細かな対応が求められるところです。ワクチンの接種等については、施設職員、入所者とも予防接種を受けており、可能な予防対策は実施しています。早期の終息が強く望まれるところです。

以上